

バージョン 10 リリース 1
2017 年 11 月 17 日

IBM Marketing Operations リ リース・ノート

IBM

注記

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、 23 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Marketing Operations バージョン 10 リリース 1 モディフィケーション 0、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： Version 10 Release 1
November 17, 2017
IBM Marketing Operations Release Notes

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 2002, 2017.

目次

第 1 章 システム要件および互換性	1	プライバシー・ポリシーおよびご利用条件に関する 考慮事項	25
第 2 章 バージョン 10.1 の新機能と変更 点	3		
第 3 章 修正された障害	5		
第 4 章 既知の問題	9		
第 5 章 既知の制限	13		
第 6 章 IBM 技術サポートへの問い合わ せ	19		
追加の連絡先情報	21		
特記事項	23		
商標	25		

第 1 章 システム要件および互換性

IBM® Marketing Operationsは、IBM Marketing Software 製品スイートの一部として動作します。

- Marketing Operations バージョン 10.1 には IBM Marketing Platform 10.1 が必要です。
- レポート作成に関しては、Marketing Operations 10.1 は、バージョン 10.1 の Marketing Operations および Marketing Operations/Campaign のレポート・パッケージを使用します。

インストール手順については、「*IBM Marketing Operations* インストール・ガイド」を参照してください。

以前のバージョンの Marketing Operations をお持ちの場合、アップグレード手順とアップグレード・プロセスでサポートされるバージョンについては、「*IBM Marketing Operations* アップグレード・ガイド」を参照してください。

第 2 章 バージョン 10.1 の新機能と変更点

IBM Marketing Operations 10.1 には、以下の新機能が含まれています。

Marketing Operations 10.1 の新機能と変更点に関する詳しい情報は、Marketing Operations に関する一連の資料を参照してください。

機能拡張された **Marketing Operations** のユーザー・インターフェース

このリリースでは、使いやすいようにユーザー・インターフェースが更新され、無駄のない現代的なデザインになり、改善されたインライン・テキストとエラー・メッセージが提供されています。外観が変わっても製品の機能は変わりません。最新の資料は「ヘルプ」メニューから入手できます。

属性グループの動的フォーム

ユーザーの選択に基づいて属性グループを動的に表示または非表示にするフォームを構成できます。特に非定型ユーザーにとっては、動的フォームは静的フォームよりも遥かに入力しやすいフォームです。入力しなければならない必須フィールドと、無視してよいフィールドを覚えておく必要がないからです。ユーザーの選択に基づいてフォームが動的に更新され、フィールドが表示されたり非表示になったりします。

例えば、ユーザーが「国」属性のドロップダウン・リストで「アメリカ合衆国」を選択した場合、フォームには「州 (State)」属性が表示され、「州 (Province)」などの他の属性は非表示になります。この場合、「州 (State)」がアメリカ合衆国に関連付けられており、「州 (Province)」は別の国 (カナダなど) に関連付けられていることをユーザーが知っている必要はありません。

属性グループの動的フォームに関する詳細情報は、Using attributes on forms を参照してください。

属性の命名プロセス - 内部名の自動取り込み

Marketing Operations のフォーム、グリッド、キャンペーン、セル、オファー、および共有の各属性フィールドの場合、ユーザーが「表示名」フィールドに入力すると内部名が自動的に取り込まれます。ユーザーは内部名を変更できますが、名前に許可されていない文字は使用できません。

リストの性能: タスクのリスト作成

タスクのリスト作成ページの性能が向上しました。

例えば、タスクのリスト作成ページをロードするのに要する時間が、以前のリリースよりも大幅に短縮されました。

拡張されたシステム・ログ

次のロギング機能の導入により、Marketing Operations のログ分析のプロセスが改善されました。

- ユーザー固有のロギング (システム・ロギングを除く)。ユーザー固有のロギングを使用することにより、ユーザーに対して別々のログ・ファイルを生成できます。
- root ログ・レベルを DEBUG に変更せずに SQL ロギングを有効にする機能。
- パッケージ固有のロギング。
- ログ・ファイルの命名、サイズ変更、およびローテーション。

注: SQL ロギングを有効にしない場合は、アップグレードした後に SQL ロギングを無効にする必要があります。

詳細については、システム・ログの構成を参照してください。

エラー・メッセージの改善

Marketing Operations が Campaign に統合され、印刷できない文字 (垂直タブ文字 (0x1F) など) がキャンペーン名に含まれている場合、リモート例外メッセージが表示されて Campaign の作成が失敗します。名前に無効な文字が含まれている場合にそのことを示すメッセージがアプリケーションにより表示されるようになりました。

Workflow Service との統合

IBM Marketing Operations と Workflow Services が統合されている場合は、Marketing Operations の拡張ワークフロー機能を使用して、再作業ループを含むワークフローを作成できます。再作業ループには、承認者が承認タスクで「拒否済み」オプションを選択した場合に再実行しなければならないタスクが含まれます。

詳細については、クラウドでのワークフロー・サービスとの統合および再作業ループを含む拡張ワークフローを参照してください。

プロジェクト・レベル/グローバル・レベルで「変更付きで承認」を有効または無効にする構成可能なオプション

2 つの新しい構成パラメーター `approveWithChanges` および `overrideApproveWithChanges` により、ユーザーが「承認」の「変更付きで承認」ボタンを表示または非表示にできるようになり、そのようにして、「変更付きで承認」オプションを承認者に使用可能にするかどうかを決定できるようになりました。

REST API の機能拡張

新しい REST API メソッド、`executeProcedure` が追加されました。このメソッドを使用して、既存のカスタム・プロシーチャーを REST により実行します

いくつかの障害が解決されて REST API が改善されました。

第 3 章 修正された障害

IBM Marketing Operations バージョン 10.1 では、以下の障害が修正されています。

表 1. Marketing Operations バージョン 10.1 で修正された障害

問題 ID	説明
APAR PO05300、障害 198544	ユーザーが Marketing Operations - Campaign 統合環境で TCS をパブリッシュするときに、「TCS パブリッシュ操作は失敗しました。ヌルが無効なコントロール・セルを参照しています (Publish TCS operation failed null refers to an invalid control cell)」エラーが発生することがあります。
APAR PO05565、障害 204127	フランス語ロケールのユーザーが電子メールを使用してプロジェクトの添付ファイルを送信するときに、「送信」ボタンが見つかりません。
APAR PO05666、障害 206929	Marketing Operations のアップグレード時に plan_log4j.xml ファイル が置き換えられます。
APAR PO05520、障害 212052	IBM Campaign で、英語以外の文字の Campaign カスタム属性が、マップされた DB テーブルにエクスポートされるときに切り捨てられます。
APAR PO05792、障害 212852	SSDB フォーム属性に対して指定されたソート順序がオブジェクト・インスタンス・レベルで機能しません。
APAR PO05840、障害 215020	タスクに割り当てられたチーム・メンバーをユーザーが削除しようとするときに、エラー・メッセージがユーザーに表示されません。
APAR PO05934、障害 216765	多くの値を持つルックアップ・テーブルを参照する依存フィールドを持つようにプロジェクトのグリッドが定義されている場合、.csv ファイルをグリッドにインポートするのに長い時間がかかります。
APAR PO06036、障害 218743	「プログラム」の「トラッキング」タブに、計画ロールアップと「表示」アイコンが存在しません。
APAR PO06081、障害 219926	912 ベースにフィックスパック 9121 を適用する際に、「オファー」メニューにアクセスできません。
APAR PO06241、障害 223878	チームの参加者ではない受信者がプロジェクト要求に含まれている場合、プロジェクト通知がチームに送信されるときに例外がスローされます。
APAR PO05840、障害 224130	ユーザーが承認で「マイ・コンピューターから更新」を使用して PDF ファイルを更新しようすると、エラー・メッセージが表示されて元のファイルが使用できなくなります。
APAR PO06274、障害 224708	ユーザーがプロジェクトを削除し、そのあと「削除」を 2 回クリックすると 6113 エラーが発生します。
APAR PO06310、障害 225693	「マークアップの表示/追加」のコメント部分に「&」または「<」文字が含まれている場合に、JavaScript エラーがスローされます。
APAR PO06337、障害 226541	ユーザーに電子メール通知が送信されていませんでした。
APAR PO06343、障害 226597	複数の行が含まれる属性の記述があるフォームをインポートすると、その記述が失われます。
APAR PO006343、障害 226597	複数行のヘルプ・テキストが、インポートしたフォームでは 1 行で表示されます。
APAR PO06381、障害 227224	フォーム・グループと属性が IBM Marketing Operations に保持されません。

表 1. Marketing Operations バージョン 10.1 で修正された障害 (続き)

問題 ID	説明
APAR PO06589、障害 227414	Marketing Operations と Campaign が統合されている環境でユーザーがプロジェクト名に制御文字を使用すると、「属性「name」の値に無効な XML 文字が見つかりました。要素は「Flowchart」です。(An invalid XML character was found in the value of attribute "name" and element is "Flowchart")」という汎用エラー・メッセージが表示されます。より具体的なエラー・メッセージが必要です。
APAR PO06400、障害 227629	Marketing Operations で画面が最小化されていると、「実装」メニュー項目が機能しません。
APAR PO06365、障害 227670	Marketing Operations V10 で、ログイン方法が LDAP のとき、操作を実行できません。
APAR PO06449、障害 229397	承認のためにチームに承認が再送信された場合に、アラートが生成されません。
APAR PO06450、障害 229462	最初の承認者がタスクを承認する前に、2 番目の承認者が承認のアラートを受信します。
APAR PO06465、障害 229783	「プロジェクトの追加」ウィザードのタイトルに、手順番号 (手順 1/X) およびタブの名前が含まれていません。
APAR PO06593、障害 232376	プロジェクトのタスクに既に多くのメンバーが割り当てられている場合、ユーザーはそのタスクのタスク・メンバーを「ワークフロー」タブから選択できません。
APAR PO06607、障害 232607	Chrome ブラウザーを使用している場合、ユーザーは手動でプロジェクト・コードを入力できません。
APAR 2333137、障害 233525	Marketing Operations ユーザー・インターフェース上のアイコンは、ユーザーがそれらの機能を使用する権限を持っていないと、無効化できません。
APAR PO06642、障害 233620	「スタッフ」タブに表示されないユーザーがワークフローを編集すると、5000 エラーが発生します。
APAR PO05263、障害 234393	Cognos メッセージがユーザー・ロケールで表示されません。
APAR PO06578、障害 234423	ドロップダウン・リストが表示されているときに、ユーザーがキー・ストロークを使用してドロップダウン・フィールドのドロップダウン・リストのオプションを選択できません。
APAR PO06693、障害 234755	True Type フォントがシステムにインストールされていない場合、マークアップ機能が応答を停止します。
APAR PO06705、障害 234967	IBM Marketing Operations でアラート・サブスクリプションが失敗します。
APAR PO06722、障害 235211	Marketing Operations を 10.0.0.0 から 10.0.0.1 にアップグレードした後に、マイ・プロジェクトの正常性ステータス・ポートレットのエラーが発生し、次のメッセージが表示されます。「5000: データベースの整合性の問題のために、予期しないエラーが発生しました。システム・ログを確認して、システム管理者に連絡してください。(5000: An unexpected error has occurred due to a problem with database integrity. Please check system logs and contact the system administrator(s).)」
APAR PO06117、障害 238440	「マークアップと共にコピー」オプションで .Annot ファイルが新しい場所にコピーされません。
APAR PO05300、障害 238516	UMO/UC 統合環境で TCS をパブリッシュする際に、「TCS のパブリッシュ操作に失敗しました。ヌルが無効なコントロール・セルを参照しています (Publish TCS operation failed null refers to an invalid control cell)」エラーが表示されます。
APAR PO03474、障害 238522	メニュー同期を完了し、Web アプリケーションを再起動しても、マルチロケール環境のメニュー・ナビゲーションに新規作成した Marketing Object が正しく表示されません。

表 1. Marketing Operations バージョン 10.1 で修正された障害 (続き)

問題 ID	説明
APAR PO06825、障害 238945	ユーザビリティ/SVC - UnicaAuthenticationProvider が「Authenticated」または「Authenticated Per User」に設定されているときに、UMO レポートのオプションがありません。
APAR PO07215、障害 241030	ユーザーが MCM を指定して追加されたマークアップの保存やマークアップが含まれるドキュメントのロードを試行するとき、承認に添付された PDF のマークアップが表示されません。
APAR PO06938、障害 243128	プロジェクトの割り当てのロール・リストを表示するポップアップ・ウィンドウで、スクロール・バーが使用できません。
APAR 対象外、障害 243751	マーケティング・オブジェクトの各インスタンスについて、誤ったタイム・ゾーン詳細が表示されます。注意:- このフィックスは既に存在している Marketing Operations のインスタンスのタイム・ゾーンを更新するものではありません。新しく作成されるインスタンスについてのみ、正しいタイム・ゾーンが表示されるようになります。
APAR PO07002、障害 244722	10.0 バージョンのアプリケーションに対して Internet Explorer 11 (IE11) のブラウザーを使用している場合、ユーザーはキーボードの Tabキーを使用してグリッドを正しくナビゲートできません。
APAR PO07048、障害 246003	要求の受信者オプションの下に設定された従属ドロップダウン・フィールドに、データが取り込まれませんでした。
APAR 243279、障害 246584	ユーザーが非表示のプログラム属性を持つプログラムを計画にリンクすると、5000 エラーが発生します。
APAR PO06589、障害 247027	プロジェクト名に制御文字が使用されている場合、リンクされたキャンペーンをプロジェクトから作成する際にエラーが発生します。
APAR PO06959、障害 247034	Marketing Operations で、ユーザーがポップアップ・ウィンドウのサイズ変更ができません。
APAR PO07077、障害 247202	API がプロジェクトを作成するときに、IMO スクリプト・ツールがワークフロー・ブランチを正しく処理しません。
APAR PO06589、障害 248100	プロジェクト名に制御文字が使用されている場合、リンクされたキャンペーンをプロジェクトから作成する際にエラーが発生します。
APAR PO06705、障害 248101	ユーザーが Marketing Operations の「マイ・タスク」画面にナビゲートしたときにセキュリティ・ポリシーが正しく適用されず、有効にならないはずの一部のアイコンが有効になっています。
APAR PO04554、障害 248104	別のチームの以前のメンバーからの要求が受け入れられた後に、アラートがチームのマネージャーに送信されませんでした。
APAR PO06419、障害 248106	トリガー検証プロンプトにより検証エラー・メッセージが表示されたときに、ブラウザーとアプリケーションが応答を停止し、ブルー・スクリーンが表示されます。
APAR PO06570、障害 248108	プロジェクトの「スタッフ」タブを編集している間にユーザーが「チーム・メンバーの選択」ポップアップを開くと、ロール画面の 3 分の 1 しか表示されません。
APAR PO06758、障害 248109	プロジェクトの「サマリー」タブでユーザーがイメージをアップロードする際に、ユーザーが「イメージのアップロード」ボタンをクリックするとイメージが消失します。
APAR PO06578、障害 248110	ユーザーがキーボードを使用して SSDB 属性の値を検索しても、値が返されません。
APAR PO06241、障害 248111	キリル文字を含む承認の編集時に、無効な文字が表示されます。
APAR PO06817、障害 248114 / 248072	ペネトレーション・テストの結果で過剰なコード・コメントが見つかりました。

表 1. Marketing Operations バージョン 10.1 で修正された障害 (続き)

問題 ID	説明
APAR PO06379、障害 268411	グリッドの編集時に、いくつかのユーザー・インターフェースの問題が見つかりました。
APAR PO06642、障害 268414	ユーザーが「ワークフロー」タブで変更を保存するときに、エラーが発生します。
APAR PO07215、障害 268800	「ラジオ・ボタン」オプションとして設定された従属ドロップダウン・フィールドに、データが取り込まれませんでした。
APAR 268628、障害 268818	バージョン 7.3 からアップグレードした後に、Marketing Operations アプリケーションがワークフロー・テンプレートにアクセスできません。
APAR 244007、障害 270641	グリッド属性は従属フィールドとして使用できません。
APAR 229110、障害 271036	エラー・メッセージにファイルの名前が含まれる場合、ファイルのサーバー・パスがエラー・メッセージに含まれます。
APAR 269994、障害 27209	MO の「Interact 統合」でリアルタイム・オファーの非表示が正しく機能しません。

第 4 章 既知の問題

以下の表には、IBM Marketing Operations バージョン 10.1 の既知の問題が示されています。

表 2. Marketing Operations バージョン 10.1 の既知の問題

問題	問題 ID	説明
「ワークフロー」タブに複数のスクロール・バーが表示される。	障害 244873	ユーザーがウィンドウでコンテンツ全体を表示するのにスクロールする必要がない場合でも、「ワークフロー」タブに複数のスクロール・バーが表示されます。
Marketing Operations の設定が 2 回、メニューに表示される。	障害 268538	Marketing Operations をアップグレードした後に、「Marketing Operations 設定」がメニューに 2 回、表示されます。
「プロジェクト」メニューが Marketing Operations アプリケーションのユーザー・インターフェースに表示されない。	障害 270652	Marketing Operations アプリケーション・ユーザー・インターフェースでユーザーが「この項目を複製します」をクリックし、「このプロジェクトを複製します」ポップアップ・ウィンドウが開いたときに、「プロジェクト」メニューが表示されません。
バージョン 10.0 からのアップグレード時に、コンソール・モードのインストールでメッセージが複数回表示される。	障害 271642	ドキュメントの欠陥：インストーラーの一般ログに致命的エラーが記録されます。バージョン 10.0 からのアップグレード中に、コンソール・モード・インストールで「しばらくお待ちください...」メッセージが複数回表示されます。
フォームの必須フィールドをアップグレードした後にルールがリセットされる。	障害 272141	前のバージョンで必須属性機能を使用している場合、バージョン 10.1 にアップグレードすると、必須機能のルールがバージョン 10.1 では保持されません。属性を必須にするためには、その属性を編集してその属性に対して「必須」オプションを選択する必要があります。ただし、そのようにすると、その属性は、それが含まれているすべてのフォームにおいて必須属性になります。
Tivoli Access Manager との統合時に、セットアップで特定のアクションを実行するとエラーが発生する。	該当なし	Tivoli Access Manager との統合時に、特定の状況下において、アプリケーションで特定のアクションを実行すると (フォーム属性の構成など)、「サーバーからの応答が不完全です」というエラーが発生します。
V10 のすべての API で REST API サポートが使用できない。	該当なし	REST API サポートがすべての API でサポートされているわけではありません。V10 でサポートされる API を確認するには、IBM Marketing Operations REST APIs を参照してください。

表 2. Marketing Operations バージョン 10.1 の既知の問題 (続き)

問題	問題 ID	説明
DB2® v10.1 で、NOT EXISTS によって重複した結果が生成される。	該当なし	DB2 v10.1 を使用するシステムでは、NOT EXISTS 演算子によって重複した結果が生成されます。照会に NOT EXISTS 節が含まれている場合、正しい結果にならないことがあります。 回避策として、 DB2_ANTIJOIN レジストリー・パラメーターを NO に設定し、DB2 サーバーを再始動することができます。次に例を示します。 <DB2-HOME>%BIN>db2set DB2_ANTIJOIN=NO
「前のページに戻る」をクリックするとエラーになる。	1054	セキュリティ権限を持たないユーザーがダッシュボードの「前のページに戻る」をクリックすると、エラーになります。
ローカライズされたユーザーまたはチームをユーザーが選択した場合に、ワークフローの下方向ヘコピーする機能でエラーが発生する。	71853	英語以外のロケールでは、ユーザー名またはチーム名に特殊文字を含む場合、ワークフロー・ページでセルの下方向ヘコピーする機能が値を保存しない場合があります。特殊文字には「^」「」「%」「&」が含まれます。
カレンダー・オブジェクトのズーム機能を使用されている場合、現在の四半期および月ごとの値がビューに表示されない。	91722	カレンダー・オブジェクトで、ユーザーが週ごとのビューから、より詳細な時系列のオプションにズームするときに、正しい週の範囲が表示されません。四半期ビューでは、現在の四半期の代わりに第 1 四半期が画面に表示されます。月次ビューでは、現在の月の代わりに 1 月が月次ビューに表示されます。
ワークフロー・デザイナーおよびプロジェクト・ワークフローでのプロセス・フローチャートのレイアウトの問題。	163452	Internet Explorer 10 では、プロセス・フローチャートのレイアウトが正しくレンダリングされません。
依存関係が強制的に適用された承認を、その従属タスクがまだ完了していても、キャンセルできる。	163730	本来は、ユーザーはエラーを受け取り、従属タスクが完了するまで承認を取り消すことはできません。
「選択した列」に移動した列が、「利用可能な列」に表示されたままである。	163736	「選択した列」に列を追加したら、その列は「利用可能な列」に表示されないはずです。
非アクティブ化によってプロジェクトまたは要求に対して行われることを Marketing Operations がユーザーに通知しない。	166376	Marketing Operations には、プロジェクトまたは要求に対する非アクティブ化の意味についての情報または確認を含める必要があります。
Marketing Operations モバイル上の誤ったアイコン。	171038	Marketing Operations のフォーム、フォーム・タスク、および予算明細項目で同じアイコンが表示されます。
エクスポート・ファイル名が誤ってフォーマット設定される。	174130	プログラムおよびプロジェクトのエクスポート・ファイル名が誤ってフォーマット設定されます。他のタブは表示されません。
ワークフロー・プロセス・ビューにタスクが正しい順序で表示されない。	175909	3 つのタスクが 1 つのタスクに依存している場合、依存関係を表す矢印がユーザー・インターフェースに表示されません。この問題は、Internet Explorer 10 でのみ起こります。この問題は「スプレッドシート・ビュー」では起こりません。

表 2. Marketing Operations バージョン 10.1 の既知の問題 (続き)

問題	問題 ID	説明
ワークフローで行を削除する操作と元に戻す操作を混用すると、タスクとそのシーケンスがゆがめられる。	175966	ワークフロー編集モードで、タスク一括削除操作を元に戻すと、正常に機能しません。この問題を回避するには、「元に戻す」を使用する代わりに、ワークフローの「キャンセル」ボタンをクリックします。
Marketing Operations- Campaign 統合システムで、特定のケースでオファーが複数回表示されることがある。	176049	特定のケースでは、TCS で「検索」または「削除」をクリックすると、「参照」セクションにオファーの重複コピーができることがあります。
Chrome 37 では「予算バージョン」メニューが自動的に閉じられる。	176713	Chrome 50 以降を使用する場合、複数の予算バージョンを使用しているユーザーが「このバージョンにアクティブのマークを付ける (Mark this version active)」チェック・ボックス上にマウス・カーソルを移動させると、「予算バージョン」メニューが縮小表示されます。
インストール時にデータベース資格情報に大文字を使用するとエラーになる。	176872, 176873	この問題を回避するには、データベース詳細のホスト名とドメイン・ネームを小文字で入力します。
すべてのタブを読み取り専用モードにしてオブジェクトを開くための単一 URL 機能では、開いたオブジェクトが編集可能になるか、タブのセットが全部揃わない状態で表示される可能性がわずかながらある。	172846, 172847, 172489, 172856	この状態としては、単一 URL によって開かれたオブジェクトに含まれるプロジェクトの階層内のリンク、単一 URL によって開かれたウィンドウ内の単一 URL リンク、資産またはアカウント・オブジェクトを指す単一 URL、単一 URL としてクリックされた計画またはプログラム・オブジェクトの「分析」タブ、または「添付ファイル」タブがあります。
無効値があると、「拡張検索」ポップアップのユーザー・インターフェースがゆがむ。	177317	無効値があると、検索結果数が誤って表示されます。「拡張検索」ポップアップがゆがみます。
同じ URL 属性を持つ複数のフォームを資産テンプレートに保存すると、5000 エラーになる。	177680	このエラーは計画には関係ありません。
「ユーザー・フォルダー」に「None」が誤って表示される。	該当なし	「None」というラベルの、存在しないフォルダーが「ユーザー・フォルダー」に表示されます。この項目は無視してもかまいません。
ユーザーが属性要素をフォーム・パレットにドラッグすると、それが任意のボタンをクリックした直後である場合、保存したフォームを Safari ブラウザーで編集できない。	220089	この問題を防ぐには、属性要素をフォーム・パレットにドラッグしたあと、ユーザーがボタンをクリックする前にフォーム・エディター・パレットの他の場所をクリックしてから「保存して終了 (Save and Exit)」、「変更を保存」、「プレビュー」、または「キャンセル」をクリックすると、ユーザーがフォームを編集できるようになります。
Safari ブラウザーのマークアップ・ウィンドウで「オリジナルをダウンロード (Download Original)」をクリックすると、ディスク上に正常にファイルが保存される。ただし、ダウンロードするたびに空のタブ・ウィンドウが開く。これは Safari ブラウザーの問題です。	224272	この問題を防ぐには、「オプション」キーを押したまま「オリジナルをダウンロード (Download Original)」をクリックすると、新しい空のタブが開かずにダウンロードできます。また、「オリジナルをダウンロード (Download Original)」を右クリックしてコンテキスト・ポップアップ・メニューを開くこともできます。「イメージを別名保存... (Save Image As...)」をクリックして、目的の場所にファイルを保存できます。新しいタブは開かれません。

表 2. Marketing Operations バージョン 10.1 の既知の問題 (続き)

問題	問題 ID	説明
XML タグが「アクティブ・プラン (Active Plans)」ウィンドウに表示される。	235781	ユーザーがインストール後に「操作 (Operations)」>「計画」を初めてクリックすると、XML タグが「アクティブ・プラン (Active Plans)」ウィンドウに表示されます。
Marketing Operations オファーを Marketing Operations からの eMessage 資産へ関連付けることができない。	該当なし	Marketing Operations でオファーを作成し、Campaign で公開する場合、オファーは eMessage でのみ検索でき、アセットへ関連付けることができます。Marketing Operations からオファーを eMessage と関連付けることはできません。

第 5 章 既知の制限

以下の表には、IBM Marketing Operations バージョン 10.1 の既知の制限が示されています。

表 3. Marketing Operations バージョン 10.1 の既知の制限

問題	問題 ID	説明
Chrome ブラウザーを使用している場合、「編集」属性リンクが表示されないため、ユーザーが属性を編集できない。	障害 246314	Chrome ブラウザーを使用している場合、ユーザーは「管理設定」>「テンプレート構成」>「フォーム定義」で属性を選択した後、「編集」属性リンクが表示されないために、その属性を編集することができません。これは、ズーム・レベルを 100% よりも高く設定している場合に発生します。
Chrome ブラウザーを使用している場合に、一部のポップアップ・ウィンドウにユーザー・インターフェースの問題が発生する。	障害 266552	Chrome ブラウザーを使用している場合、一部のポップアップ・ウィンドウで次の問題が発生します: ウィンドウの下部にあるボタンが見えません。F11 キーを押すとボタンが一部見えるようになりますが、ボタン全部を表示するにはウィンドウを移動させる必要があります。「検索」ウィンドウの検索属性が正しく表示されません。
ユーザーが「Marketing Operations 設定」>「マーケティング・オブジェクト・タイプ」設定メニューから多数のマーケティング・オブジェクトを作成するときに、ユーザー・インターフェースの問題が発生する。	障害 267053、267054、267056	ユーザーが「Marketing Operations 設定」>「マーケティング・オブジェクト・タイプ」設定メニューから多数のマーケティング・オブジェクトを作成するときに、次のようなユーザー・インターフェースの問題が発生します。 - メニュー・オブジェクトがブラウザー・ウィンドウに合わず、ユーザーはスクロールしてすべてのメニュー項目を表示、アクセスすることができない。 「変更の保存」および「キャンセル」ボタンが「マーケティング・オブジェクト・タイプの追加」ウィンドウに完全に表示されない。 「変更の保存」および「キャンセル」ボタンが「テンプレートの追加」ウィンドウに完全に表示されない。
グリッドが保存されるときに、単一選択属性の値が保存されない。	障害 267800	グリッドで単一選択属性が使用されている場合、その単一選択属性の値に特殊文字が含まれていると、グリッドが保存されるときにその値は保存されません。
ダッシュボード・ポートレットの複数のスクロール・バー	3066	ブラウザー・ウィンドウのサイズを縮小すると、2 つのスクロール・バーを持つダッシュボード・ポートレットが表示されることがあります。Marketing Operations と Marketing Platform の両方が、スクロール・バー・コントロールを追加します。
アクセント付き文字を含むフォームを追加できない。	8027	ユーザーはアクセント付き文字を含むフォームを「フォーム名」または「テーブル名」フィールドへ追加することはできません。 この問題は修正されました。

表 3. Marketing Operations バージョン 10.1 の既知の制限 (続き)

問題	問題 ID	説明
Oracle では、フォーム属性ストリングが長すぎると 5000 エラーになる。	175488	Oracle データベースでは、フォーム属性ストリングは 30 文字までに制限されています。この長さを超えると、5000 エラーになります。
誤った資産 URL	177613	資産テンプレートにフォームを追加すると、URL のエラーになる場合があります。
プロジェクトおよびサブプロジェクトを手動でクリアする必要がある	5817	プロジェクト正常性 (月次) レポートを要求する際、「プロジェクト」および「サブプロジェクト」を選択して組み込むことができます。これらのリストのいずれかから値を選択した後、他の選択を行う場合、その選択を行う前に、すべてのプロジェクトまたはサブプロジェクトをクリアする必要があります。
Campaign からのオファーに関係のある関連製品は、Marketing Operations へ移行されませんでした。	62333	Campaign オファーには関連製品の機能があり、Marketing Operations オファーにはその機能がありません。そのため、関連製品は Campaign から Marketing Operations へ移行されません。
コメントが定義された上限を超えると例外になる	DEF062980	データベースによって課された上限を超えるテキスト・ストリングをフィールドに入力すると、データベース例外が発生します。例えば、DB2 データベースを使用するシステムで、1,048,576 より長いプロジェクト記述を保存しようとする、エラーになります。これはデータベース・サーバーによって課される制限です。
Safari ブラウザーがデータ・マイグレーション・ファイルを直接ダウンロード・フォルダーにダウンロードする	DEF063699	Safari ブラウザーで Marketing Operations を使用中にデータ・マイグレーションのインポートを実行すると、宛先フォルダーを指定するプロンプトは出されません。インポートされるファイルは、Safari でダウンロード用に指定されたフォルダーに直接ダウンロードされます。
ユーザーは英語以外の言語のマーケティング・オブジェクトを追加することができない	DEF057079	Marketing Operations では、マーケティング・オブジェクト・タイプ名にマルチバイト文字は許可されていません。
フォーム名、フォーム属性名、またはテーブル名のフィールドに英語以外の文字が使用されたフォームまたはテンプレートを追加することができない	DEF057100	英語以外の文字を使用したフォームおよびテンプレートのフィールドは保存できません。
プロジェクトがキャンセルされても、プロジェクトの入力が完了していても、ユーザーはタスク・ペインを使用して「要約」タブを編集できる	DEF057121	ページの右側でタスク・ペインがオープンしている状態で、「サマリー」タブでプロジェクトをキャンセルしたり、プロジェクトの入力を完了したりした場合は、プロジェクトがアクティブでなくても、引き続きタスク・ペインでプロジェクト・フォームを編集することができます。

表 3. Marketing Operations バージョン 10.1 の既知の制限 (続き)

問題	問題 ID	説明
レガシー・メトリック・テンプレートが新規テンプレートにマッピングされると、1 次キー違反になる	DEF057563	Marketing Operations バージョン 8.5.0 で、外部メトリック・エディターがアプリケーション内に移動しました。バージョン 8.5.0 で作成されたメトリック・テンプレートには、タイプ (計画、プログラム、またはプロジェクトに対応する) を指定する必要があります。 Marketing Operations には、バージョン 8.5.0 より前に作成された計画テンプレート、プログラム・テンプレート、またはプロジェクト・テンプレートに使用できるようにレガシー・メトリック・テンプレートが保持されていますが、新しいオブジェクト・テンプレートにはこのタイプ情報がないため、これらのレガシー・メトリック・テンプレートを新しいオブジェクト・テンプレートに使用することはできません。新規の計画テンプレート、プログラム・テンプレート、またはプロジェクト・テンプレートを作成する場合は、同じタイプを持つメトリック・テンプレートを選択する必要があります。新しいオブジェクト・テンプレート内でレガシー・メトリック・テンプレートを使用する必要がある場合は、新しい内部メトリック構成機能を使用してレガシー・メトリック・テンプレートを再作成しなければなりません。
グリッド上のデフォルト日付が必ずしも正しくローカライズされない	DEF057605、 DEF040170	グリッドの日付選択制御は非英語ロケール用にローカライズされないため、一部の非英語言語ロケール (日本語など) の場合、グリッド日付属性のデフォルト値は必ずしもデータ設定されません。
未応答のレビュー担当者は、右側のタスク・ペインからの「保留中」承認を続行できない	DEF057650	レビュー担当者が「保留中」状態の承認に応答していない場合は、右側のタスク・ペインを使用してその承認を続行することができません。タスク・ペインには承認のために「承認」、「変更して承認」、および「拒否」ボタンが表示されますが、「続行」および「キャンセル」ボタンは表示されません。一方、既に承認に応答した承認者は右側のペインから続行できます。 右側のペインのボタンはユーザーの役割 (承認者または承認の所有者) に基づいて決定されるため、このシナリオのようになります。承認者と所有者が同一ユーザーである場合は、承認者のアクションが優先されます。
計算メトリックの式は英語でなければならない	DEF057660	メトリック・テンプレートにメトリックを追加する場合、ユーザーはメトリックを「計画」または「ロールアップ」として指定できます。「式によって計算済み」フィールドに式を入力する場合、その式は英語でなければなりません。ROLLUP の代わりに翻訳された文字列を入力すると、エラーが発生します。

表 3. Marketing Operations バージョン 10.1 の既知の制限 (続き)

問題	問題 ID	説明
メトリック式が検証されない	DEF057726	メトリックに無効な式が指定されると、メトリックを使用するオブジェクト・インスタンスの「トラッキング」タブに入力した値が Marketing Operations によってファイナライズされるときに、例外エラーとなります。有効な演算子とオペランドについて詳しくは、製品資料を参照してください。
データベース・テーブル名で大文字が使用されているカスタム・フォームのグループがアップグレードされない	DEF058551	この制限は、7.5.x から 8.5 にアップグレードし、その後 9.0 にアップグレードする (2 ステップ・プロセス) インストール済み環境に当てはまります。カスタム・グループに属性が含まれ、フォーム・テーブル名に大文字が含まれるカスタム・フォームが正しくアップグレードされません。カスタム・グループは削除され、属性はデフォルト・グループに移動されます。
SSOR/MSOR 属性を追加するとき、「マーケティング・オブジェクト・タイプ」ドロップダウンでオファーを選択できない	DEF059340	Marketing Operations バージョン 8.5 には、Campaign のオファー管理との統合に使用可能なデフォルトのマーケティング・オブジェクト「Offers」(uap_sys_default_offer_comp_type) があります。マーケティング・オブジェクト・タイプ「Offers」を参照する単一選択オブジェクト参照属性が自動作成オプションによって作成されたものである場合、自動作成されるオファーにはいくつかの重要なフィールド (キャンペーン・オファー・コードなど) が生成されないため、問題となります。このようなことに起因する問題を回避するために、SSOR 属性と MSOR 属性には「Offers」の参照が許可されていません。SSOR 属性または MSOR 属性を追加する場合に、「マーケティング・オブジェクト・タイプ」ドロップダウンで「Offers」は選択できません。
オファー・テンプレートのインポートに関する制限	DEF059793	次の場合、オファー・テンプレートはインポートされません。 • 同じ ID のオファー・テンプレートが存在する。 • 同じ ID のオファー・テンプレートが以前に公開されて削除されている。 • 同じ名前のフォームがオファー・テンプレートに使用されている。
承認を拒否するための理由を要求する機能を無効にすることができない	該当なし	ユーザーが承認を拒否するときに理由を要求するように Marketing Operations を構成すると、ユーザーは拒否理由の値を選択しなければなりません。ユーザーがこの機能の使用を開始した後、この機能を無効するようにシステムを再構成することはできません。
Marketing Operations の単一 URL 構成は、計画およびプログラムの「分析」タブをサポートしない	172856	計画オブジェクトおよびプログラム・オブジェクトの「分析」タブが単一 URL として構成されている場合、これらの URL をクリックすると、計画オブジェクトまたはプログラム・オブジェクトの他の部分にナビゲートするためのタブがユーザー・インターフェースに表示されなくなります。

表 3. Marketing Operations バージョン 10.1 の既知の制限 (続き)

問題	問題 ID	説明
Marketing Operations- Campaign 統合システムでは、単一 URL 機能の機能が制限される	177309	単一 URL が構成されたキャンペーン・プロジェクトでは、「実装」タブは表示されません。キャンペーンのタブに単一 URL 機能が実装されていません。
IOS モバイル・システムでの Marketing Operations 承認には、レイアウトの問題がある	178600	IOS デバイスでは、「完了応答の投稿」ボタンとファイル名が見にくいです。
AcquireLock API は、ユーザーが編集モードで「スタッフ」タブや他のタブを開いた場合でも、例外をスローしない。	166474	IBM Marketing Operations API を使用する場合、オブジェクトに対するタブ・レベルのロックを獲得することはできません。GUI ではタブ・レベルのロックを許可するのに対し、この API はオブジェクト・レベルのロックのみ許可します。
DB2 のオーナーとユーザーが異なると、フォームの作成、公開、および使用が機能しません。	19733	この問題は、データ・ソース内で言及されているユーザーが、データベース表を作成したユーザーと異なる場合にのみ発生します。

第 6 章 IBM 技術サポートへの問い合わせ

資料を調べても解決できない問題が発生した場合、貴社の指定サポート窓口が IBM 技術サポートへの問い合わせをログに記録することができます。このガイドラインを使用して、問題を効率的かつ成功裏に解決してください。

貴社の指定サポート連絡先以外の方は、貴社の IBM 管理者にお問い合わせください。

注: 技術サポートは API スクリプトの書き込みまたは作成を行いません。API 製品の実装に関する支援については、IBM 専門サービスにお問い合わせください。

情報収集

IBM 技術サポートに問い合わせる前に、以下の情報を集めておいてください。

- 問題の内容の要旨。
- 問題発生時に表示されるエラー・メッセージの詳細。
- 問題を再現するステップの詳細。
- 関連するログ・ファイル、セッション・ファイル、構成ファイル、およびデータ・ファイル
- 製品およびシステム環境に関する情報 (この情報は「システム情報」の説明に従って取得できます)。

システム情報

IBM 技術サポートにお問い合わせいただいた際に、技術サポートではお客様の環境に関する情報をお尋ねすることがあります。

問題がログインの妨げになっていない場合、この情報の多くは「バージョン情報」ページから得られます。このページでは、インストール済みの IBM アプリケーションに関する情報が提供されています。

「バージョン情報」ページには、「ヘルプ」>「バージョン情報」を選択することによってアクセスできます。「バージョン情報」ページにアクセスできない場合、アプリケーションのインストール・ディレクトリーの下にある `version.txt` ファイルを確認してください。

IBM 技術サポートの連絡先情報

IBM 技術サポートへのお問い合わせ方法については、IBM 製品技術サポート Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/open_service_request) を参照してください。

注: サポート要求を入力するには、IBM アカウントを使ってログインする必要があります。このアカウントを IBM カスタマー番号にリンクする必要があります。アカウントを IBM カスタマー番号に関連付ける方法については、サポート・ポータル「サポート・リソース」>「ライセンス付きソフトウェア・サポート」を参照し

てください。

追加の連絡先情報

製品の改善に関するご意見は、IBM (cm_feedback@us.ibm.com) にご連絡ください

製品サポートが必要な場合は、IBM お客様サポート (<https://support.ibmcloud.com>) にお問い合わせください。

また、お客様の地域の IBM 営業所にご連絡いただくこともできます。

USA	
IBM 1001 E Hillsdale Boulevard Foster City, CA 94402 無料通話: 1.866.493.2673	IBM Austin 11501 Burnet Road Building 905, Floor 2 Austin, TX 78758-3400 無料通話: 1.866.493.2673
IBM Dallas 750 W John Carpenter Freeway Irving, TX 75039 無料通話: 1.866.493.2673	
ヨーロッパ	
IBM United Kingdom Limited 3 Furzeground Way Stockley Park Uxbridge Middlesex UB11 1EZ U.K. 電話: 020 8867 8003	IBM GmbH Beim Strohhause 17 D-20097 Hamburg Germany 電話: 0800-180-2597
IBM France 17 Avenue de l'Europe 92275 Bois Colombes Cedex France 電話: 0800 91 4912	
アジア太平洋	
IBM Hong Kong Limited Silvercord Tower 2 Room 907 30, Canton Road Tsim Sha Tsui Kowloon Hong Kong SAR, China Tel: +852 8201 0823 FAX: +852 8201 0832	IBM オーストラリアとニュージーランド 60 Southgate Ave Southgate VIC 3006 オーストラリア (オーストラリア) 1800 69 CORE (ニュージーランド) 0800 69 CORE

IBM にお客様のご意見をお寄せください

ご意見をお寄せいただくときは、次の宛先をご利用ください。

IBM Bay Area Lab
1001 E Hillsdale Boulevard
Foster City, California 94404
USA

次のいずれかの方法を使用して、電子的にコメントを送信できます。

通話無料

1+866-493-2673

サポート・センター:

<https://support.ibmcloud.com>

World Wide Web:

www.ibm.com/marketing-solutions/

ご意見またはコメントには、必ず次の情報を含めてください。

- 本資料のタイトル
-

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
B1WA LKG1
550 King Street
Littleton, MA 01460-1250
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式

においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

商標

IBM、IBM ロゴ、ibm.com は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

プライバシー・ポリシーおよびご利用条件に関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話の調整やその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。Cookie とは Web サイトからお客様のブラウザーに送信できるデータで、お客様のコンピューターを識別するタグとしてそのコンピューターに保存されることがあります。多くの場合、これらの Cookie により個人情報が収集されることはありません。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項をご確認ください。

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie は無効にできますが、その場合、これらを有効にした場合の機能を活用することはできません。

Cookie およびこれに類するテクノロジーによる個人情報の収集は、各国の適用法令等による制限を受けます。この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、個人情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンド・ユーザーへの通知や同意取得の要求も含まれますがそれらには限られません。

お客様は、IBM の使用にあたり、(1) IBM およびお客様のデータ収集と使用に関する方針へのリンクを含む、お客様の Web サイト利用条件（例えば、プライバシー・ポリシー）への明確なリンクを提供すること、(2) IBM がお客様に代わり閲覧者のコンピューターに、Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置

することを通知すること、ならびにこれらのテクノロジーの目的について説明すること、および(3) 法律で求められる範囲において、お客様または IBM が Web サイトへの閲覧者の装置に Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置する前に、閲覧者から合意を取り付けること、とします。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』(<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』を参照してください。



Printed in Japan